

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 19 日 (2009.11.19)

【公開番号】特開 2007-53425 (P2007-53425A)

【公開日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2005-235239 (P2005-235239)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 7/167 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 P

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 7/167 Z

G 1 1 B 20/10 H

G 1 1 B 20/10 F

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

G 0 6 F 12/14 5 5 0 A

G 0 6 F 12/14 5 6 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 10 月 6 日 (2009.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の装置内に蓄積された第 1 のコンテンツデータを第 2 の装置で再生可能な第 2 のコンテンツデータに変換する変換ステップと、

変換された第 2 のコンテンツデータを前記第 1 の装置内に保存するとともに、前記変換された第 2 のコンテンツデータを第 2 の装置へ移動する移動ステップと、

前記変換された第 2 のコンテンツデータの前記第 2 の装置への移動に応じて、前記第 1 の装置内に蓄積された第 1 のコンテンツデータを復元可能な再生不能データに変換する再生不能化ステップと、

を含むことを特徴とする再生制御方法。

【請求項 2】

前記変換ステップでは、前記第 1 のコンテンツデータから一部のデータを抽出し、抽出されたデータを用いて第 2 のコンテンツデータを生成し、

前記再生不能化ステップでは、前記変換ステップにおいて前記第 1 のコンテンツデータから抽出された一部のデータを消去することにより、前記第 1 のコンテンツデータを再生不能にする

ことを特徴とする請求項 1 記載の再生制御方法。

【請求項 3】

前記第 1 のコンテンツデータは、映像データと音声データを含む M P E G 形式のデータ

であり、

前記一部のデータは、映像データのＩピクチャのＤＣ成分と音声データである  
ことを特徴とする請求項２記載の再生制御方法。

【請求項４】

前記再生不能化ステップでは、暗号化鍵を用いて前記第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータを暗号化し、

前記移動ステップでは、前記第２のコンテンツデータと共に前記暗号化鍵を前記第２の装置へ移動する

ことを特徴とする請求項１に記載の再生制御方法。

【請求項５】

前記第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータは第１の画質を有し、前記第２の装置へ移動された第２のコンテンツデータは前記第１の画質より低い画質を有する  
ことを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載の再生制御方法。

【請求項６】

前記第２の装置で再生可能なコンテンツデータの解像度、フレームレート、及び、映像サイズの情報を含む機器データを受信するステップを更に含み、

前記変換ステップでは、前記第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータの解像度、フレームレート、及び、映像サイズを前記機器データに基づき変換する

ことを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載の再生制御方法。

【請求項７】

前記第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータはコピー制限されたコンテンツデータである

ことを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載の再生制御方法。

【請求項８】

外部再生装置で再生するための取り外し可能な記憶媒体に、コンテンツデータを移動可能な再生制御装置であって、

第１のコンテンツデータを蓄積する蓄積手段と、

前記第１のコンテンツデータを前記外部再生装置で再生可能な低解像度の第２のコンテンツデータに変換する第１の変換手段と、

変換された第２のコンテンツデータを前記再生制御装置内に保存するとともに、前記変換された第２のコンテンツデータを前記記憶媒体へ移動させる移動手段と、

前記変換された第２のコンテンツデータの前記記憶媒体への移動に応じて、前記蓄積手段に蓄積された第１のコンテンツデータを復元可能な再生不能データに変換する第２の変換手段と、

を含むことを特徴とする再生制御装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

上記目的を達成するため、本発明の再生制御方法は、第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータを第２の装置で再生可能な第２のコンテンツデータに変換する変換ステップと、変換された第２のコンテンツデータを第１の装置内に保存するとともに、変換された第２のコンテンツデータを第２の装置へ移動する移動ステップと、変換された第２のコンテンツデータの第２の装置への移動に応じて、第１の装置内に蓄積された第１のコンテンツデータを復元可能な再生不能データに変換する再生不能化ステップと、を含むことを特徴とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の再生制御装置は、外部再生装置で再生するための取り外し可能な記憶媒体に、コンテンツデータを移動可能な再生制御装置であって、第1のコンテンツデータを蓄積する蓄積手段と、第1のコンテンツデータを外部再生装置で再生可能な低解像度の第2のコンテンツデータに変換する第1の変換手段と、変換された第2のコンテンツデータを再生制御装置内に保存するとともに、変換された第2のコンテンツデータを記憶媒体へ移動させる移動手段と、変換された第2のコンテンツデータの記憶媒体への移動に応じて、蓄積手段に蓄積された第1のコンテンツデータを復元可能な再生不能データに変換する第2の変換手段と、を含むことを特徴とする。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】